

# 健診は受けていますか？



健診は自分の健康状態を知り、深刻な病気を未然に防ぐことができる効果的な手段です。

何の症状もないから大丈夫…、自分は健康だから大丈夫…と思っただけでも、がんや心臓病、脳血管障害などの「生活習慣病」は自覚症状がないままに進行します。気がついたときには手遅れだった…ということがないように、最低でも年1回は健診を受けるようにしましょう。

前回のデータと比較してどうなっているかを見るためにも、定期的に受けましょう。また、基本健診（特定健診、後期健診、一般健診）と合わせて、各種がん検診も一緒に受けにすることをおすすめします。

がんは他人事ではありません。日本人の約2人に1人ががんになり、約3人に1人が、がんで亡くなっています。早期のがんは治せる時代です。症状が出てきたときには、かなり進行していることがあります。進行する前の初期の段階で発見できれば、治る確率も高くなっています。ただし、がんは初期の段階では明らかな症状がないため自分で気付くことが困難です。

がん検診を受けて、早く見つけてしっかり治しましょう。

本宮市の今年度の個別健診は、平成25年2月末日まで実施しています。

- 胃がん検診 30歳以上の方  
エックス線検査（場合によっては胃カメラ）
- 肺がん検診 40歳以上の方  
エックス線検査
- 大腸がん検診 30歳以上の方  
便潜血検査
- 前立腺がん検診 50歳以上の男性  
血液検査
- 子宮頸がん検診 20歳以上の女性  
子宮頸部の細胞診
- 乳がん検診 30歳以上の女性  
マンモグラフィ検査または超音波検査

実施医療機関については、保健課までお問い合わせください。

### ◆問い合わせ先

保健課（えぼか内） 健康増進係  
☎63-27780

## 徘徊高齢者家族支援事業

# 位置情報端末機(GPS)をお貸しします



### GPSの使用法

市では「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を目指し、徘徊高齢者を在宅で介護しているご家族に、位置情報端末機（GPS）により、徘徊高齢者の所在を確認できる機器をお貸ししています。

### ◆対象者

徘徊の行動がみられる、または徘徊行動のおそれがあるおむね65歳以上の認知症高齢者を在宅で介護している家族の方。

※徘徊とは、目的もなくうろついたり回ることです。家族が思いもしないような遠いところまで歩いてしまったり、生命に危険を及ぼすこともあります。

### ◆サービスの内容

加入料（最初のバッテリー1個分の代金含む）、および標準充電器費を、市が負担します。

### ◆利用負担

位置情報の提供費用（電話の場合1回210円、パソコン・携帯電話でのインターネット検索の場合、月2回までは無料、3回目からは105円）、毎月の基本料金525円、1年半ごとバッテリーの交換など。

### GPSの使用法

- ①徘徊行動のある高齢者に、普段からGPSをお持ちいただきます。首から下げたり、いつでも持ち歩くバッグに入れておく、お守り代わりに持ってもらうなど、方法は様々です。
- ②高齢者の姿が見えず、行き先が分からなくなってしまう時には、家族が携帯電話やパソコンから高齢者がいる位置を検索するか、電話で位置を問い合わせます。
- ③高齢者がいる場所の大きな検討がつくので、どこにいるのか全く分からない場合に比べ、居場所を探しやすくなります。

高齢者ご本人の安全と、ご家族の安心のため、まずはお気軽にお問い合わせください。

### ◆問い合わせ先・申請窓口

高齢福祉課（えぼか内）  
☎63-27780

# 国保 だより

医療費が高額になった場合、医療費の一部が戻ります。

（高額療養費申請のお知らせ）  
1カ月間に病院へ支払った医療費が一定額（自己負担限度額）以上になった場合は、申請すれば医療費の一部が高額療養費として支給されます。

国民健康保険に加入している方については、医療費が高額に該当すると確認できた方で、まだ申請されていない方に対して申請通知書をお送りします。  
通知が届いた方は医療費の一部が戻りますので、次のものを持参して申請をしてください。

### ◆申請窓口

市民課 国保年金係  
白沢総合支所 市民福祉課

### ◆持参するもの

申請通知書、通知書に記載されている病院等の領収書、世帯主の通帳（申請書委任欄にご記入いただければ世帯主以外の通帳でも可）、認印

### ◆問い合わせ先

市民課 国保年金係  
☎33-11111  
（内線1255・127）



## ～ジェネリック医薬品希望カードは必ず署名してから使用しましょう～

<ジェネリック医薬品の処方希望の場合は>

- 医療機関の窓口でジェネリック医薬品希望カードを提示します。希望カードが無いときは主治医に口頭で伝えましょう。
- ジェネリック医薬品は処方箋が必要な薬です。病気の状態や医師の判断で、ジェネリック医薬品が使用できない方もいますので、詳しくは主治医にご相談ください。
- 処方箋を薬局へ持参し、薬剤師にジェネリック医薬品の希望を伝えます。

## 子ども医療費助成をご利用の皆さまへ 医療費適正受診のお願い

本宮市では、お子さんの健康を守るため10月より子ども医療費の助成対象者年齢を、18歳まで拡大しました。

お子さまの医療費につきましては、市と県の予算から助成しています。今後とも医療費の助成制度を末永くご利用いただけるよう、次のことについてご協力をお願いします。

### ◆問い合わせ先

子ども福祉課  
☎33-11111（内線133・134）

## 結核をなくすための複十字シール募金にご協力ください

市では、毎年健康を守る連盟が募金活動を積極的に行っています。

世界中の結核を撲滅し、肺がんやその他の胸部疾患をなくして、人々が健康で、幸せであるように、複十字シールを通じ、これらの病気の予防に目を向けていただきそのための事業資金を集めるための募金活動が複十字シール募金です。行政区を通して募金運動をお願いしていますので、ご協力をお願いします。昨年の本宮市での募金額は410,549円でした。

◆問い合わせ先 保健課（えぼか内） ☎63-2780



複十字シール運動  
キャンペーンキャラクター  
「シールぼや」